



女性が活躍する職場づくり読本

# 「らしさ」が 原動力に なる



**Kitakyushu**  
**Action!**

動かせ、未来。北九州市

# 北九州発！ 「女性が輝くリーディングカンパニー」

## 株式会社 ARIGATO

化粧品卸・製造、小売・業務用美容機器の開発を行う会社。代表自らが2人の子どもを育てながら仕事に取り組んできたという経緯もあり、その経験を活かした職場づくりを行っています。育児中の女性が働きやすい社会を実現する「ワーママ・スマイル・プロジェクト」を発足するなど、他企業も巻き込んだ取組も。

〒802-0085 北九州市小倉北区吉野町10-19 パークプラザ三萩野3F  
TEL 093-647-5224

<https://www.argt-ltd.com/>



### Woman's voice

#### 働く女性の声

#### 「みんなで考え、みんなで取り組む」 そんな社風があるから会社が成長する

株式会社ARIGATO 総務部 部長 繁木 佳織さん

私が入社した約20年前は、まだ一人ひとりがお互いの事情を理解し思いやることができず、女性が活躍しやすい職場とはいえませんでした。現場の声に耳を傾けながらみんなで考え、リモートワークなどを取り入れていった結果、環境が整っていったんです。次は子育てが落ち着いた社員が新たなことに挑戦できる資格取得制度などを整えたいですね。実は私もARIGATOに在籍しながら、自ら会社も経営しています。そんなわがままも叶えてくれるのが当社の魅力です。



銀行勤めからARIGATOのネイリストに。その後、事務職に異動し、お金の計算という得意分野で力を発揮

#### 働く女性の声

#### 3人の子どもを育てながら働いていても 不便さを感じたことがない幸せな環境

株式会社ARIGATO 総務部 田中 千花さん

以前も別の会社で正社員として働いていましたが、残業が多く子育てしながら続けるのが難しくなり…。退職して専業主婦を経験した際、「私は社会とつながってみたい」と感じARIGATOに入社しました。働く時間や子どもが病気になる場合のことなど、細かく希望を聞いてもらい私に合った働き方をつくってもらったので、入社後8年経った今でも働きづらさを感じたことはありません。社員だけでなく、その社員の家族まで大切にしてくれるのが嬉しいです。



「女性だから、育児中だから、もう40代だから…と諦める必要なんてない、と応援してもらえる会社」と田中さん

# 創出事業」採択企業

女性が活躍できるまちづくりを推進する北九州市では、女性がイキイキと働き、その力を十分に発揮できる職場づくりに必要な経費の一部を助成する取組を実施。申請者の中から審査によって決定した3社の取組や想いを紹介します。

### Leader's comment

ワーキングマザーはもちろん  
誰もが平等に挑戦できる場所に

株式会社ARIGATO 代表取締役 山崎 いずみさん



#### Q 女性活躍推進のために 以前から行っていたことは？

自分自身が出産・育児と仕事の両立を経験し、女性が働きやすい職場づくりには「家族の協力」が大切だと気づいたんです。そこで、「ミーティングに子どもが参加してもOK」など『ワーキングマザーをサポートする職場の10ルール』を言語化し、社員の家族にも見ってもらうことに。ママにとって良だけでなく、家族が応援しなくなる企業でいることが大切だと考えています。

#### Q 助成金申請のきっかけや それを活用した取組は？

オフィス内に誰でも嬉しいことがあったら鳴らす「ARIGATOの鐘」というのを設置していて、誰かが鳴らしたらみんなでハイタッチして喜びを共有することになっているんです。すると「願いが叶う鐘」と噂になって社外の方が鳴らしにくるようになって。思い切ってカフェ風オフィスに改装し、とたでも気軽に越えたいいただき、女性相談会や企業相談会を行う場にしたいと考えました。

#### Q 取組による変化や効果 今後の目標はありますか？

女性が働きやすい職場づくりを意識してからは、リモートワークを推進しながら、逆に子どもを連れて来ることもOKにし、社内に育児アイテムも用意しました。一人ひとりが自分に合った働き方で仕事に向き合えるので、業務が円滑に進むようになったと感じています。当社のさまざまな取組を他の企業様にもシェアして、北九州を盛り上げるための架け橋になっていけたら嬉しいです。

#### Q 女性活躍を推進する上で 大切にしている考えは？

当社には子どもがいる人・いない人それぞれいれば、女性だけでなく男性もいます。女性活躍推進活動を行っていますが、そもそも男性と女性を分けて考えない職場であることが理想。誰にでも平等にチャンスがある会社でありたいです。仕事をする時間は人生の大半を占めるので、やりたいことを我慢したり、辛い時間になることがないように、一人ひとりの人生を応援したいと思います。

# 北九州発! 「女性が輝くリーディングカンパニー」

## 株式会社かねすえ

「安心・安全な食品」と「お客様に喜ばれる味」をお届けする辛子明太子の製造・販売会社。昭和43年に戸畑区で『松本商店』として開業したのち、昭和62年には社名を『かねすえ』に変更。本社工場を小倉北区に移し、国際規格ISO22000の認証取得などを業界内でも早い時期から推進してきました。

〒803-0802 北九州市小倉北区東港1-5-5-1  
TEL 093-591-1245  
<https://kanesue-net.co.jp/>



# 創出事業」採択企業

## 株式会社三洋コンサルタント

港湾・漁港を専門とする海のコンサルタントとして発足。現在は土木全般まで広く扱っており、主に設計・調査・水理実験の3つの部門で事業を展開。女性比率の低い建設コンサルタント業の中で女性活躍推進を社内外に明示しており、「性別にとらわれず、社員一人ひとりが活躍できる企業」を目標にしています。

〒800-0031 北九州市門司区高田1-3-1  
TEL 093-342-8241  
<https://sanyo-cnsl.co.jp/>



### Leader's comment



女性を大切に  
する風土を  
受け継ぎ、  
強化したい

株式会社かねすえ 専務取締役 松本 大輝さん



**Q** 女性活躍推進のために以前から行っていたことは?

資格取得やセミナー参加といったキャリア支援をはじめ、「課長職以上の女性が5名」など女性登用にも力を入れてきました。また、女性従業員の声に耳を傾ける風土をつくることで、送迎バスの導入やクリスマスケーキ・おせちの無償支給など全従業員に喜んでもらえる取組が多数あります。

**Q** 助成金申請のきっかけやそれを活用した取組は?

私たちの会社は女性従業員が全体の8割。彼女たちの努力に支えられてきました。よりイキイキと健康的に働いてもらえる職場環境を計画中だったため、助成金の申請を決意。女性従業員へのアンケート結果をもとに、更衣室の新調や食堂のカフェスペースの改修工事を行いました。

**Q** 取組による変化や効果 今後の目標はありますか?

大きかったのは離職者が減り、勤続年数が向上したことです。今後は一人ひとりに合わせた就業時間の受け入れ体制づくりを行ったり、社内にキッズスペースを設けるといった子育て世代への支援も視野に入れていきます。また、女性活躍推進課(仮)を増設することも考えているところです。

**Q** 女性活躍を推進する上で大切にしている考えは?

女性従業員は、私たちが事業を継続する上で欠かすことのできない大きな戦力です。女性従業員を大切にしてきた先代がつくり上げた会社の風土を継承し、強化することが何よりも大切だと考えています。それにより、会社全体の就業環境の継続的な改善にもつながっていくはずです。

### Leader's comment



培ったスキルやキャリアを  
長く活かしてほしいから

株式会社三洋コンサルタント 常務取締役 安部 義美さん



**Q** 女性活躍推進のために以前から行っていたことは?

女性社員の管理職への積極的登用をはじめ、時差出勤、テレワーク、特別休暇制度(子どもの病気、学校行事参加、アニバーサリー休暇など)の導入を行っています。また、社内の意識改革を進めるために『セクハラ研修』や『アンコンシャスバイアス研修』を取り入れているのも特長です。

**Q** 助成金申請のきっかけやそれを活用した取組は?

男女別に分かれたトイレについて要望があったことや、男女問わずライフステージの変化による離職防止を目指すのが申請のきっかけ。助成金を活用し、女性たちの意見交換を行った上で女性用および多目的トイレやパウダールームを整備し、専門家による育児・介護セミナーも開催しました。

**Q** 女性活躍推進によって現れた変化や効果はありますか?

男女関係なく意見が言い合える雰囲気が醸成されはじめたことです。また、今回だけでなく2020年度から具体的な取組をはじめたことで、2020年度以前の5年間は女性社員の採用6名に対して離職者5名でしたが、2020年度以降の5年間は採用11名に対して離職者2名と効果が出ています。

**Q** 女性活躍推進に関して大切にしている考えや目標は?

ただ単に女性の意見を取り入れるのではなく、男性社員やさまざまな年代の社員の意見を聞いた上でバランスを考えることを意識しています。特殊な業界なので、業務で培ったスキルやキャリアを長く働いて活かしてほしい。そのためにも女性の管理職比率を上げていきたいです。



株式会社かねすえ  
専務取締役  
松本 大輝 さん

株式会社かねすえ  
品質管理部部長  
松本 萌芳 さん

株式会社ARIGATO  
代表取締役  
山崎 いずみ さん

北九州市  
副市長  
大庭 千賀子

株式会社ARIGATO  
総務部  
田中 千花 さん

株式会社三洋コンサルタント  
調査部次長  
松原 千恵 さん

株式会社三洋コンサルタント  
常務取締役  
安部 義美 さん

北九州発！「女性が輝くリーディングカンパニー創出事業」採択企業

# 採択企業との 座談会

採択企業3社の代表者と女性従業員の方、北九州市の副市長である大庭千賀子が参加。

女性活躍の推進について意見交換を行う座談会が開催されました。

## 現在、女性活躍の推進のために どんな取組を行っていますか？

**ARIGATO山崎(以下山崎)** 私自身が小学生と中学生の子どもを育てながら仕事をしているということもあり、自分の経験を活かした取組を行っています。育児をしながら働くママたちが、仕事もプライベートも「自分らしく」輝けるようサポートするために『ワーママ・スマイル・プロジェクト』を立ち上げてミーティングやPRイベント、他企業とのコラボを行ったり、ワーキングマザーが働きやすい職場にするための考え方を『職場の10のルール』として言語化し、社員の家族にも読んでもらっています。ありがたいことにこれらの取組が評価され、『北九州市女性活躍・ワークライフバランス表彰』市長賞をいただくこともできました。

**ARIGATO田中(以下田中)** 私は子どもが3人いるので、以前は子どもに合わせた働き方をしていました。でも、できる限り自分の理想の働き方を叶えたいし、もっと社会でも認められたいという思いが強くて…。悩んでいた時に誘ってもらいARIGATOに入社したんです。代表の山崎はママの立ち位置で見てくれるので、子どもが病気になって困っていても「それなら仕事は家でしたらいいんじゃない？」と言ってくれます。一人ひとりの状況に合わせて自由な働き方をさせてもらえるのがARIGATOの魅力です。

**山崎** 『職場の10のルール』には、「リモートワークなど多彩な働き方に柔軟である」「子どもの急な体調不良による遅刻・早退・欠席に理解がある」「女性・男性ともに全員が子育てへの理解を深めること」といった記載がありますが、もともとこうした取組を以前から行っていたんです。でもこうしてきちんと定義し、目に見える形にすることで全員の意識が高まっているなど変化を感じています。



全国各地の量販店に向け辛子明太子を製造する株式会社かねすえ。今回の取組のおかげで働く意欲がますます向上したとの声が多数あがったという

**かねすえ松本(大)(以下松本(大))** 私たちの会社は従業員数111名のうち女性が92名なので、女性のパワーがとても大事。できるだけ彼女たちの声を聞いて女性が働きやすい職場環境を整えていきたいと日頃から常に考えてきました。製造の仕事で一日中立ちっぱなしの方が多く、少しずつではありますが、カフェスペースをつくり、マッサージチェアを置いたり…と実践中です。当社は設立47周年なので、古くから働いてくれているベテランの女性もたくさんいます。そんな方々がこれからもずっと働いてくださるよう快適な環境をつくっていきたくです。ただ、ベテランの女性の要望がそのまま20代、30代の女性にも通じるのかという点は課題のひとつ。いろいろな施策を行いながら「皆にとって良い環境づくり」を模索していけたらと思います。

**かねすえ松本(萌)(以下松本(萌))** マッサージチェアは好評なのですが、女性の人数が多すぎて待ち時間が長くなってしまふことを改善していかないとはいけません。ARIGATOさんのように女性ユーザーに直結する職種ではありませんが、女性従業員が多いという点は共通しているので勉強させていただきたいです。

**三洋コンサルタント安部(以下安部)** 私たちは業界的にかなりの長時間労働になったり、現場の対応が多いことから女性の定着が難しかったのですが、今ここにいる松原ともう一人女性がもう20年ぐらい働いてくれておりまして、「もっと女性も採用していこう」という流れになっていきました。正直なところ、慢性的な人手不足が課題になっている業界だということもあり、「女性が働ける環境を整備して、女性の技術者をとんとん入れていこう」という機運が高まっています。

**三洋コンサルタント松原(以下松原)** 私自身は会社が女性活躍の推進を進めることを意識して行っていく以前から、実はそんなに居心地の悪さを感じてなくて…(笑)。ただお話を聞き、マラソンに例えるとARIGATOさんは、はるか先を走っていると感じ、驚いているところです。私たちはその背中を後方から眺めながら、ようやく走りはじめたところなのだと感じました。

## それらの取組を行い始めた きっかけはありますか？

**安部** 5年ほど前に女性社員のひとりから「家庭との両立が難しいと思うので、結婚を機に退職します。でも、これまでのキャリアをなんとか活かす方法はないでしょうか」と相談をもらったんです。ちょうどコロナ禍だったこともあり、リモートでの在宅勤務を提案したことが、女性の働きやすさを考えるきっかけになりました。それ以来、女性の管理職は現在2名になり、女性の意見の吸い上げが以前よりもできるようになったと思います。産休・育休をはじめ、特別休暇を設けるなど制度も整えていきました。2020年以前の5年間では、採用者6名中離職者5名だったのに対し、2020年以降の5年間は女性採用者11名中離職者2名と改善され嬉しく思っているところです。

**松本(大)** 女性の管理職でないと女性の意見の吸い上げが難しいというのは本当にありますよね。相談をされても女性にしかわからない辛さがあったりするので、「松本(萌)さんに相談できるようになってからは、わかってもらえるので良くなった」と、良い意味で肩身の狭い思いをしています(笑)。例えばなのですが、製造の現場で使うハサミが固いという意見があったんです。男性にはまるでわからなかったのですが、女性からすると「女性の力でこれを1日中使うのは辛い」ということがわかり、改善につながりました。

**安部** やっぱり女性は女性に相談した方が良いですね。各部署に女性管理職をひとりずつは配置すると良いのだと感じています。僕らみたいなおじさんにはなかなか相談しにくいから…。

**山崎** 私は『職場の10のルール』の中に「ワーキングマザーだけを特別扱いしないよう努めること」という項目を入れているんです。ワーキングマザーを特別扱いして子どもがいない人に負担がいつてしまったり、女性を特別扱いして男性が肩身の狭い思いをするのは違いますよね。働く人全員にとって居心地の良い職場になると良いと思います。



「持続可能な北九州市のまちづくりのためにも、女性が活躍する職場づくりを推進していくことはとても大切」と語る大庭副市長

## 女性従業員のひとりとして 自社の取組はいかがですか？

**田中** とても嬉しい取組のひとつが、年に1度取得できる2週間のリフレッシュ休暇です。もちろんこの期間をどう過ごすかは個人の自由なので、旅行に出かけたり、マッサージに行ったりウォーキングをしたりしてひとりの時間を満喫して過ごしています。育児中はストレスが溜まりがちなので、家族旅行も嬉しいのですが、ひとりで伸び伸びと過ごせる時間があると生き返ります。心が豊かになる時間をつくってもらえることが本当にありがたくって。それによって「よし！またがんばろう」とモチベーションアップにもなっています。子どもの病気の際はリモートワークが可能ですが、どうしても出勤しないといけない場合は子どもといっしょに出勤することもできます。会社にはベビーチェアや歩行器が用意されていて、私だけでなく社員の家族のことも大切にしてくれていることが伝わります。先日2泊3日の出張があったのですが、夫や義母が快く子どもたちの世話を引き受けてくれたのも、私が良い環境でイキイキと働いていることや、会社が社員の家族まで大切にしてくれていることを知っているから。一般的には小さな子どもがいると、なかなか出張には行けないと思うのですが、うちの子どもたちは「お仕事ががんばってね」と応援してくれます。

**松本(萌)** 私も2人子どもがいて急な体調不良などで出勤できなくなってしまうことがよくありますが、「こっちは大丈夫だよ！」とありがたい声を掛けてもらえる環境があります。女性活躍の推進に対する社長の思いも強く、全員にアンケートを取った結果、20年ほど使っていた100名分のロッカーを新しいものに総入れ替えしたり、トイレ

も新しく快適なものに変わりました。設備が新しくなり快適に働けるようになったことで、モチベーションがアップしたと思います。

**松原** 当社はまだ走りはじめたばかりなので小さなところから少しずつといった段階です。作業着を新しくしたり、時差出勤をはじめたり、入社後半年未満でも特別休暇を最大4日間取得できるようにしたり…と、できることから行っていますが、今回の採択事業のおかげで以前から要望として上がっていた女性トイレやパウダールームの新設が叶うのがありがたいです。

**松本(萌)** やはり会社が存続していくためには人の力が一番大切ですので、子育てをされている方、介護をされている方、一人ひとりの状況に合わせた就業時間を設定するなど工夫をしていきたいですね。



それぞれの話に興味深く耳を傾けるとともに、始終和やかな雰囲気で行った座談会。同じ思いを持つ3社の交流が叶ったことも大きな意義に



化粧品の卸・製造や小売・業務用美容機器の開発を行う株式会社ARIGATOは、先進的な取組の数々で高い評価を受けている

## 自社の女性活躍推進に関して 今後の展望や目標を教えてください

**安部** 私たちの業界は専門性が高いので、やはり定着してもらえることが一番重要。離職者は大幅に減りましたが、定着してもらうためには離職率ゼロを目指して、環境整備により力を入れていきたいと感じました。ARIGATOさんのリフレッシュ休暇2週間、かねすえさんのマッサージチェア、どちらも気に入ります。弊社にも昨年からアニバーサリー休暇が導入されましたがそれは年にたったの1日ですので、2週間は本当に思い切られた制度だと感じました。

**山崎** でも、制度をつくったところで働く人が満足してくれなければいっしょですから。御社の松原さんが「居心地の悪さを感じていなかった」とおっしゃっていたのが印象的でした。取組を行って終わるのではなく、働く人に満足してもらえることがゴールだと思うので、そのゴールを忘れないように走りたいですね。

**松本(大)** 私も一人ひとりの声にしっかりと耳を傾け、コミュニケーションを取っていくことをもっと大切にしていきたいと感じました。働いている方からすると「自分たちの声がかきとんと経営層に届いている」とわかれば、そのこと自体も働く意欲につながっていくはずですね。

**山崎** 私、北九州の企業みんなで女性活躍の推進を進めていくことで、県外から北九州に来てくれる人を増やしたいという願望があるんです。私は北九州で生まれ育ち、ここが大好きなので子育ても仕事もずっと北九州でしています。東京支社もあるので東京にもよく行きますし、全国あちこちらに出かけますが、北九州は都会でもあり、田舎でもあり本当に良いところ。食べ物もおいしいので、県外のお取引先様をよくご招待しています。実は弊社の東京支社には「北九州に移住したい」と話している社員がいて…。県外から北九州に来てもらえるような企業のモデルケースになれば嬉しいんです。

港湾等の構造物の設計や劣化調査等を行う株式会社三洋コンサルタント。取組を始めて以来、女性の離職率が激減したという

## 最後に大庭副市長から 本日の感想をお願いします

**大庭** それぞれ業種や男女比率が異なる中での取組についてお聞きしましたが、共通しているのは女性従業員の方一人ひとりの声をしっかりと受け止め惜しまず投資をされたことで、離職率が下がったりモチベーションが上がったりという結果につながっていることだと感銘を受けました。ロッカーだったりトイレだったり、そんなちょっとしたところの環境を整えることって女性にとっても大切ですよ。私も以前、会社に男女兼用トイレしかないという環境で働いていたことがありましたが、お手洗いにいきづらかったのを覚えています。でも、それを若い女性が男性の上司に言えるかといえば、難しいと思うんですよね。女性の代表や管理職がいるからこそその気配りが、多くの女性の働きやすさをつくっていると感じます。

また、女性の管理職であれば女性従業員も話をしやすいだろうという話がありましたが、「女性の上司だからこそ相談しやすい」という男性もいらっしゃると思うんです。そういう意味では、女性も男性もどちらもが管理職にすることが大事なのだらうと感じました。3社様はぜひ、女性を吸引する力のある企業としてこれからも活躍いただけたらと思います。「北九州にはこんな企業があるんだ」ということが知れて、よりこのまちを誇らしく思うことができました。



# 極東ファディ株式会社

自社焙煎コーヒーとこだわりの冷凍食品を一般消費者をターゲットにカフェ併設の自営店舗で販売。「お客様の大半が女性なのだから、もっと女性が活躍できる会社にならなくてはいけない」というトップの気づきがきっかけで、女性活躍推進の取組を積極的に行っています。

〒802-0001 北九州市小倉北区浅野3-6-6

TEL 093-541-2275

<https://www.fadie.com/>



## Leader's voice

### 女性が働きやすい環境で、男性にも働きやすい会社に

#### 社外の素敵な女性に出会える勉強会『ファディ女の会』を発足

「もっと女性が活躍できる会社にならなくては」という気づきからはじまった女性活躍推進では、働きづらさを解消するために制度を整えるほか、2つの特徴ある取組が実施されました。そのひとつが『ファディ女の会』。2016年から年に1度開催されている女性社員を集めた会では、外部のロールモデルや取引先の女性社員にも参加してもらい、外とつながることも大切にしています。



#### 女性店長がひとりもない… その改善が他の課題も解決

もうひとつの取組は、店長候補によるプロジェクト『FESP (Female Store Project)』です。当時、ファディの店舗には女性店長がひとりもいなかったのですが、3年間の活動を通じてついに女性店長が誕生。その後は店長職だけで



なく、本社の企画部門、商品バイヤー、人事総務など多くの部門で女性たちが活躍するようになりました。さらに、「女性にとって働きやすい会社は男性にとっても働きやすい会社」という空気が生まれ、男性も子どもの行事で休みやすくなるなど、誰にとっても働きやすい環境が実現しています。



極東ファディ株式会社  
取締役 総企画本部  
本部長

吉水 請子 さん

## Woman's interview

働く女性の声



### 恵まれた環境で得た 私の10年間の学びを 若手にも伝えたい

極東ファディ株式会社 総務部 岡崎 由莉さん

「女性の働きやすさ」について  
貴社の現在の環境はいかがですか？

「ライフ」も「ワーク」も楽しめる  
誰にとっても働きやすい職場

女性活躍推進のための活動が始まったのは、ちょうど私が入社した頃でした。そのため、社内で会議などがある度に、当社代表の秋本が「女性にとって働きやすい会社は男性にとっても働きやすい会社だ」と発信してくれて、そうした風土が根付いていっていたように思います。それから10年以上私がこの会社でがんばってこられたのは、人間関係のストレスで悩むことなく、上司や女性の同僚だけでなく男性社員の協力も大きいからに他なりません。代表の秋本が「ライフもワークもどちらも楽しみましょう」という考え方だということもあり、社員も皆、ワークライフバランスの充実に大切にしながら働いています。

女性活躍推進という視点から  
貴社で働く魅力は何ですか？

女性のための取組に参加したり  
充実した制度を活用できる



仕事のやりがいや今後の目標、  
取り組んでいきたいことは？

私が教わってきたことを伝えて  
良い学びの循環を生み出したい

入社2、3年目までは、自分のスキルアップに重きを置いており、主軸が常に自分だった気がします。最近では総務部で採用関係の業務を担当しているせいか周囲のことも気持ちが向くようになり、若手社員から話を聞いてその内容を採用サイトで発信するなど、「会社の魅力をもっと伝えたい」と考えるまでに成長しました。最近では当社が女性活躍推進に取り組んでいることも広がってきたのか、たくさんの優秀な女性に応募してもらうことができ、今年の内定者は全員女性という結果になり驚いているところです。

『ファディ女の会』や研修でたくさんのことを学べるだけでなく、当社にはイキイキと働きながらプライベートも楽しんでいる女性の先輩や上司がたくさんいます。これからは私が学んできたことを、今度は私が新入社員研修の場で伝えていくことで、良い学びの循環を生み出していきたいです。

# 計測検査株式会社

インフラやプラントなど、さまざまな構造物の維持管理や非破壊検査において、多角的な視点で課題を捉え、保有する多様な技術からより適切な検査方法を提案する会社。技術職のため以前は男性社員が多かったものの最近では女性社員が増加しており、女性活躍推進の取組を積極的に行っています。

〒807-0821 北九州市八幡西区陣原1-8-3  
TEL 093-642-8231

<https://www.keisokukensa.co.jp/>



## Leader's voice

### 男性中心の業界だったからこそ、女性の活躍がカギに

#### 周囲からの提案を受け入れ 社長としてやるべきことをやる

当社の総務部長は女性なんです。彼女が部長になって以来、女性が働きやすい職場づくりのためのアイデアがどんどん出てくるようになりました。そうした周囲からの提案に対し、私が「No」という理由はありません。技術者が多く男性中心だった業界だからこそ、女性の活躍で組織の可能性が広がります。決して無理強いはいできませんが、今後は女性リーダーや管理職として活躍する人材を増やしていくのが目標です。

#### 「お互いさま」の心で支え合い 誰もが力を発揮できる環境へ

急な休みにも柔軟に対応できる勤務体制や、育児・介護休暇制度の取得促進など、さまざまな取組を行っていますが、大切なのは制度よりも文化。女性・男性関係なく社員



同士が自然に支え合う「お互いさま」が息づく場所で、一人ひとりが自分の力を発揮し、成長できることが大切です。つまり、女性活躍推進は“特別な取組”ではなく“社員力の向上”そのものだという。私のモットーである「人にやさしい経営」を続けながら、これからも多様な人材が生きがいと誇りを持って働ける会社づくりを進めていきます。



計測検査株式会社  
代表取締役  
坂本 敏弘 さん



## Woman's interview

働く女性の声



### 人を大切にする社風に 女性でも不利にならない 配慮をプラスした会社

計測検査株式会社 メンタルヘルス推進室 室長 渡邊 沙樹さん

#### 「女性の働きやすさ」について 貴社の現在の環境はいかがですか？

#### 「人を大切にする風土」があり お互いさまの精神で支え合える

入社して10年以上が経ちますが、当時と比べると女性社員がずいぶん増えました。男女関係なく募集しているのですが、近年は女性からの応募が多いので、これからはもっと増えていきそうで嬉しいです。

女性が少ない頃から社内には男女問わず人を大切にする風土があり、子どもがいる女性社員を周囲が嫌な顔ひとつせずサポートする様子も見ってきたので、「どこの会社もこんな感じだろう」、「育児中の女性をサポートするのは当たり前だろう」と思っていました…。ニュースで子どもが病気で休むづらい、周囲の理解を得られないという現状を知ったり、友人から会社の悩みを聞く度に、「そんな会社があるんだな」と驚いていました。

#### 女性活躍推進という視点から 貴社で働く魅力は何ですか？

#### 女性だから不利になることはゼロ 男性の理解を得るための取組も

まず大きいのは、「女性だから」という点でマイナスになることはなく、誰もが働きながら成長できること。産休・育休はもちろん、希望



に合った時短勤務ができるのも魅力的です。また、会社が女性特有の健康面にも配慮した健康経営を目指しているため、男性所属長の理解を得るために研修を繰り返しています。女性のホルモンバランスのことやそれによる心身への影響は男性にはわからない部分が多いため、研修を通してそれを「当たり前」のことで捉えてもらえるのは嬉しいです。

#### 仕事のやりがいや今後の目標、 取り組んでいきたいことは？

#### 「お互いさま」の環境を大切に 一人ひとりの心身を守りたい

女性が活躍できる職場づくりを推進してきたのは私の上司である女性なのですが、彼女が10年前に立ち上げたのが、私が室長を受け継いだ「メンタルヘルス推進室」です。彼女は以前、体調を崩して一度会社を退いた経験があったので、「誰もがリタイアしなくても良い職場環境をつくりたい」とメンタルヘルスを学び、メンタルヘルス推進室を立ち上げたといいます。それだけでなく、同時に障がい者雇用についても学び、研修を活発に行って障がい者雇用も実現したんです。そういった取組からも、「お互いさま」という気持ちや思いやりが会社の風土としてさらに定着してきたと思っています。例えば私が体調不良で突然休んでも、普段から困らないための工夫がしてあるだけでなく、誰かがやさしくフォローしてくれるんです。だからこそ、逆の時には自分もそういう人でありたいと思うことができる。その環境をこれからも守っていけたらと思っています。

# 有限会社ゼムケンサービス

「女性の喜び、生きがいを創る日本一のチーム」として活躍。20年前から女性活躍推進の取組を行い、建設業界には珍しい女性社員の方が多い会社に。社内・社外関係なく先進的な取組を行ってきた経験を活かし、現在は男女関係なく幅広い年代の方、障がいのある方が働ける多様性への課題に取り組んでいます。

〒802-0064 北九州市小倉北区片野3-7-4

TEL 093-931-0301

<https://www.zmken.co.jp/>



## Leader's voice

### 女性活躍推進を起点に、多様性を活かす仕組みづくりを



#### デジタル化を進めることで 誰もが場所にとらわれず働ける

育児や介護中でもスキルを活かすためには場所にとられない働き方ができることが大切。ゼムケンサービスでは、リモートで現場支援を行うシステムや社内知識共有プラットフォームを導入し、誰もが活躍できる仕組みづくりを行っています。20年ほど前から女性活躍推進に取り組んできた当社では、もうその活動自体は区切りを迎えています。今取り組んでいるのは多様性への課題。「誰もが自分の選んだ働き方できちんと収入を得ること」が建設業界ならできるはず。



#### 資格や経験、実績があっても 活躍どころか仕事にも就けない

建設業界には古くからの慣習が多く、女性が働くための環境が整っていないのが課題。私が仕事を始めた頃は特に「女性が働くのは結婚または出産するまで」という考えが主流でした。現在でも、独身時代に取った建築士の資格を持っていたり、大手メーカーで働いていたキャリアがあっても、活かし場所がないという女性がたくさんいます。「彼女たちは私が採用しないと誰も採用しないのでは？」と気づいたことが女性活躍推進に取り組むきっかけになりました。



有限会社ゼムケンサービス  
代表取締役  
籠田 淳子 さん

## Woman's interview

働く女性の声



### 女性であることを 強みに変えられる会社

有限会社ゼムケンサービス 常務取締役 鴛海 奈緒子さん

その後は別の仕事に就いていたのですが、諦めきれず探した時に出会ったのがゼムケンサービスでした。建設業で代表者が女性だということにまずは驚き、私が弱みだと思っていたことを「仕事に活かそう」と言ってもらえたことにも、ひっくり返るような衝撃を受けたのを覚えています。

女性活躍推進という視点から  
貴社で働く魅力は何ですか？

仕事のやりがいや今後の目標、  
取り組んでいきたいことは？

#### 建設業で活躍することを 諦めていた私に訪れた出会い

建築を学んだ後、工務店に入ったので、ずっと女性少数という世界を歩んできました。建設業界でやっていきたいという夢を持っていたのですが、女性特有の体調の変化に悩まされていたこともあり、「とれだけががんばっても男性には敵わない」と心が限界になり退職したんです。

#### 私と同じような女性たちに 仕事のやりがいを感じてほしい

まずは建築士・現場監督として、お客様といろいろな空間を作っていくこと。そして、仕事のノウハウをデジタルマニュアル化したり、女性が現場で働くためのセミナー『けんちくけんせつ女学校』を実施するなど、私を救ってくれたゼムケンサービスの取組を広げることで、仲間が増えると良いなと思っています。

### 建設業への憧れが 夢のままで終わらない

有限会社ゼムケンサービス デザイン工務部 上野 暢子さん



という言葉。「あなたがやれば他の人も『自分にもできる』と思える。だからあなたが希望」と言ってもらい、「ここでは何にでも挑戦できる」と思えたことが、女性がほとんどいない現場でもがんばれる原動力になっています。

女性活躍推進という視点から  
貴社で働く魅力は何ですか？

仕事のやりがいや今後の目標、  
取り組んでいきたいことは？

#### 男性・女性、経験・未経験 関係なく応援してもらえる

入社前はグラフィックデザイナーなどをしていたのですが、立体のものに興味があり転職しました。入社後は会社のパンフレットを作ったり、サイン関係のデザインをしていたのですが、現場が大好きになり現在は現場監督も。建築を学んだことはありませんでしたが、一番初めに代表の籠田に言われたのは「誰でも建築家になれるよ」

#### 取組を行う側にまわって 建設業に来る方の力になりたい

現場ではネットで調べてもわからない知識が突然必要になります。女性だけでなく男性も含め多様な方々が、私のように未経験でも建設業で働ける仕組みづくりとして、ノウハウのデジタル化に力を入れているところ。現場に出るのを少し我慢して、今はデジタル化の作業を通して建設業で働きたい方を応援したいです。



# 北九州市は「女性にコンフォートなまち」の 実現に向け取り組んでいます

ワークライフバランス推進で充実と成果を

## WorkLifeBalance表彰

性別にかかわらず、誰もが活躍できる職場環境づくりに積極的に取り組んでいる企業・団体の熱意や努力、創意工夫を表彰し、その実践事例を市民・企業の皆さんに発信することで、その取組を市内全域へ広げていきます。



「わたらしい」ライフスタイルをサポート!

## ウーマンワークカフェ北九州

自分らしい生き方やはたらき方を見つけ、新しい一歩を踏み出すために、一人ひとりに寄り添った支援をしています。就職や創業、在宅ワーク、こどもの預け先、キャリアアップなど、はたらいっていない方も、はたらいっている方もご利用ください。



女性が働きやすい職場づくりをサポート!

## 専門家派遣事業

北九州市中小企業支援センターでは、女性の採用や雇用、働きやすい職場環境づくりをはじめ、中小企業者の多様な経営課題解決のため、中小企業診断士や社会保険労務士などの資格や、豊富な経験を有する専門家を派遣し、中小企業の経営改善等に向けた支援を行っています。ぜひ、ご相談ください。



生理の困りごとを女性だけの問題にしない職場づくりを

## 「はたらく×生理」ハンドブック

女性にやさしい社会づくりに向け、女性の健康に配慮した職場づくりを応援しています。市内の小規模事業場の経営者と働く女性を対象に、職場での月経随伴症状等に関する悩み等のアンケート調査を行い、その結果をもとに「はたらく×生理」ハンドブックおよび研修用動画を作成しました。職場の研修等でご活用ください。



本誌の内容や北九州市の女性活躍に向けた取組は、  
インターネットでもご覧いただけます



お問い合わせ

北九州市産業経済局中小企業振興課

〒804-0003

北九州市戸畑区中原新町2番1号 北九州テクノセンタービル1階

TEL 093-873-1433

mail : san-chuushou@city.kitakyushu.lg.jp